

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の地域性や法人の持つ資源を活用した理念が構築され、理念と実践を結びつける取り組みが事業所としてなされているが、事業所独自の理念が法人全体の事業計画の中に位置づけられていない。	法人全体の事業計画に独自の理念を位置づけることで法人内での差別化を図り、理念に基づき自身を持って事業に取り組む。	①来年度事業計画に「笑顔・気付き・地域・環境を生かす」という理念を掲載する。 ②毎月の会議で理念が生かされた介護を提供できているかどうかを確認し合い理解と共有を図る。 ③朝礼時、理念を復唱することで目指す方向性の共有を図る。	6ヶ月
2	10	利用者との会合や、面会時のご家族への聞き取りなどから希望や要望をすくい取る取組は行っているが、家族からの意見や要望が少ない。	家族から忌憚のない意見や要望を聞き取り運営に繁栄させる。	①独自のアンケートを作成し調査(無記名)を年1回実施。その回答を会議で検討する。 ②年4回の近況報告の内容を見直し、家族が介護サービスについて意見や要望が出しやすいよう、より詳細な近況報告を作成し送付する。	12ヶ月
3	40	食事を楽しめるよう一緒に調理や食材作りをしたり食事の場所なども工夫し個々のできることに焦点をあてた取り組みは行っているが、単に食事を楽しむための工夫が足りない。	食の楽しみを広げる。	①出来上がりの食事を写真に撮り説明を入れ今日の献立コーナーに掲示する。 ②食事前に写真を見ていただきながらメニューの説明をする。	6ヶ月
4	20	馴染みの人や場との関係継続の支援	馴染みの人や生活していた場所を懐かしみ会話の場を広げていただく。	家族や友人、馴染みの人、懐かしい場所を写真に撮り部屋に飾る。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。